

クマ類保護及び管理に関する検討会（経緯）

1. 目的

令和5年秋期のクマ類による被害の発生状況を踏まえ、科学的知見に基づき、クマ類の出没や被害の発生要因を分析するとともに、令和6年度以降の被害防止に向けた総合的な対策の方針を取りまとめる。

2. 検討委員

- | | | | |
|--------|--------------------|--------|---------------------|
| ・大井 徹 | 石川県立大学生物資源環境学部特任教授 | ・佐藤 喜和 | 酪農学園大学 農食環境学群教授 |
| ・小池 伸介 | 東京農工大学大学院教授 | ・澤田 誠吾 | 島根県西部農林水産振興センター主幹 |
| ・近藤 麻実 | 秋田県生活環境部自然保護課主任 | ・山崎 晃司 | 東京農業大学地域環境教授 |
| | | ・横山 真弓 | 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授 |

3. 検討内容

（第1回）令和5年12月26日（火）

- ・クマ類の生息状況、被害状況等について
- ・関係団体ヒアリング（北海道、岩手県、秋田県、群馬県、富山県、兵庫県）

（第2回）令和6年1月9日（火）

- ・関係団体ヒアリング（大日本猟友会、北海道農業協同組合中央会、日本自然保護協会、知床財団、NPO法人ピッキオ）
- ・クマ類による被害防止に向けた対策方針の論点について

（第3回）令和6年2月8日（木）

- ・クマ類による被害防止に向けた対策方針（案）について